



2026年3月期第2四半期
決算ダイジェスト



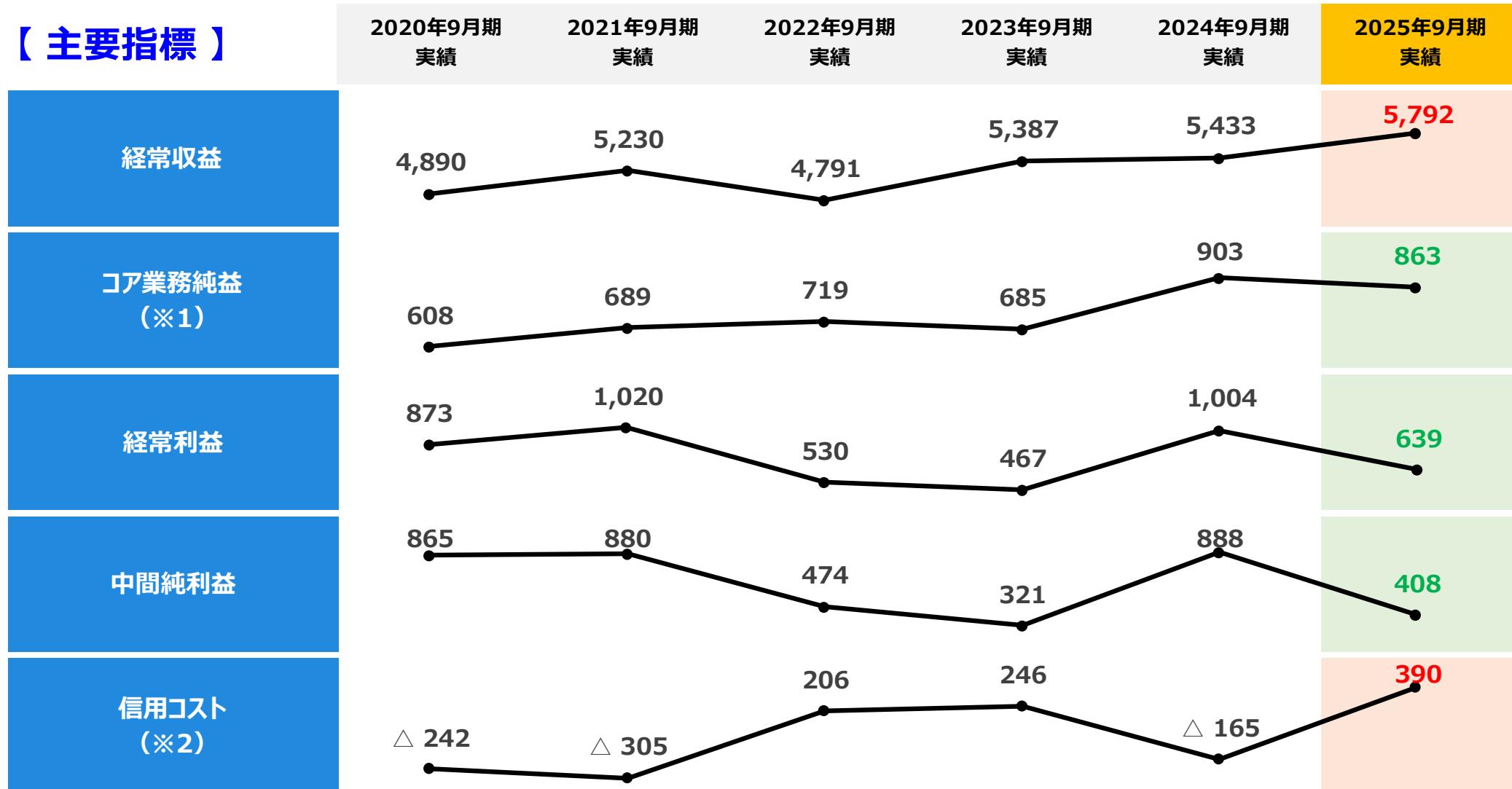
目次

1. 2026年3月期第2四半期決算ハイライト	1
2. 損益の状況	2
3. 資金利益の状況	3
4. 貸出金の状況	4
5. 預金（譲渡性預金を含む）の状況	5
6. 信用コスト及び不良債権の状況	6
7. 有価証券の状況	7
8. 自己資本比率	8
9. 業績予想	9
10. 経常収益と経常利益、中間純利益の推移	10
11. 経営強化計画の達成状況	11

1. 2026年3月期第2四半期決算ハイライト

(単位: 百万円)

【主要指標】



※1 コア業務純益とは、銀行の本来の業務（預金・貸出金・手数料収入など）による収益力を示す指標です。

※2 信用コストとは、お客さまへの貸出金が回収できなくなるおそれと備えて計上する費用のことです。

いちばんに、あなたのこと。

2. 損益の状況

(単位: 百万円, %)

【主要財務計数】

	2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期比
経常収益 ①	5,433	5,792	359
コア業務粗利益 (※1) ②	4,202	4,272	70
資金利益 ③	4,073	4,217	143
うち貸出金利息 ④	3,782	4,253	471
役務取引等利益 ⑤	137	65	△ 72
その他業務利益 (除く国債等債券損益) ⑥	△ 9	△ 9	0
経費 (△) ⑦	3,298	3,409	111
コア業務純益 (※2) ⑧	903	863	△ 40
国債等債券損益 ⑨	△ 44	△ 141	△ 96
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) ⑩	859	721	△ 137
経常利益 ⑪	1,004	639	△ 364
特別損益 ⑫	△ 41	△ 15	25
法人税等合計 (△) ⑬	74	215	140
中間純利益 ⑭	888	408	△ 479
信用コスト ⑮	△ 165	390	556

自己資本比率 ⑯	9.71	8.55	△ 1.16
----------	------	------	--------

※1 コア業務粗利益②=資金利益③+役務取引等利益⑤+その他業務利益 (除く国債等債券損益) ⑥

※2 コア業務純益⑧=コア業務粗利益②-経費⑦

経常収益 ①

貸出金利息④の増加等により、前年同期比3億59百万円増加し、57億92百万円となりました。

コア業務粗利益 ②・コア業務純益 ⑧

コア業務粗利益②は、役務取引等利益⑤が減少したものの、資金利益③が増加したこと、前年同期比70百万円増加し、42億72百万円となりました。他方、経費⑦はベースアップなどによる処遇改善の影響で人件費が増加し、前年同期比1億11百万円増加しました。その結果、コア業務純益⑧は同40百万円減少の8億63百万円となりました。

経常利益 ⑪・中間純利益 ⑭

経常利益⑪は、前年同期比3億64百万円減少の6億39百万円となり、中間純利益⑭は同4億79百万円減少の4億8百万円となりました。

信用コスト ⑮

物価高や人員不足などの影響による業績悪化先の増加(87百万円)、引当率上昇や残高増加に伴う増加(142百万円)の一方、再チャレンジ支援や経営改善・事業再生支援へ積極的に取り組んだ結果(325百万円)、信用コストは3億90百万円となり、前年同期を上回る水準となりました。

自己資本比率 ⑯

公的資金70億円を繰上げ返済したこと、自己資本比率は前年同期比1.16ポイント低下し、8.55%となりました。
(公的資金残高は160億円 → 90億円)

3. 資金利益の状況

(単位：百万円)

【資金利益】

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期比
資金利益 ①	4,067	4,073	4,217	143
資金運用収益 ②	4,090	4,163	4,722	558
貸出金利息 ③	3,760	3,782	4,253	471
有価証券利息配当金 ④	274	301	367	66
その他の ⑤	54	79	100	20
資金調達費用 ⑥	23	90	504	414
預金利息（譲渡性を含む）⑦	23	90	504	414

(単位：%)

【利鞘】

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期比
資金運用利回り（A）⑧	1.40	1.37	1.60	0.23
貸出金利回り ⑨	1.79	1.78	1.97	0.19
有価証券利回り ⑩	0.45	0.51	0.61	0.10
資金調達原価（B）⑪	1.15	1.15	1.38	0.23
預金等利回り ⑫	0.00	0.03	0.17	0.14
総資金利鞘（A）-（B）⑬	0.25	0.22	0.22	-

資金利益 ①

資金運用収益 ②（主に貸出金利息 ③）の増加に伴い、前年同期比1億43百万円増加し、42億17百万円となりました。

貸出金利息 ③

政策金利の利上げに伴い貸出金利が上昇したことに加え、物価上昇や人件費増を背景とした企業の運転資金需要の増加により、前年同期比4億71百万円増加し、42億53百万円となりました。

預金利息（譲渡性を含む）⑦

預金利回りの上昇により、前年同期比4億14百万円増加し、5億4百万円となりました。

貸出金利回り ⑨

前年同期比0.19ポイント上昇し、1.97%となりました。

《短期プライムレート引き上げ状況》

- 2024.10.01 +0.15ポイント
- 2025.03.24 +0.25ポイント

預金等利回り ⑫

前年同期比0.14ポイント上昇し、0.17%となりました。

《普通預金の金利引き上げ状況》

- 2024.04.01 変更後 0.02% (変更前 0.001%)
- 2024.09.02 変更後 0.10%
- 2025.03.24 変更後 0.20%

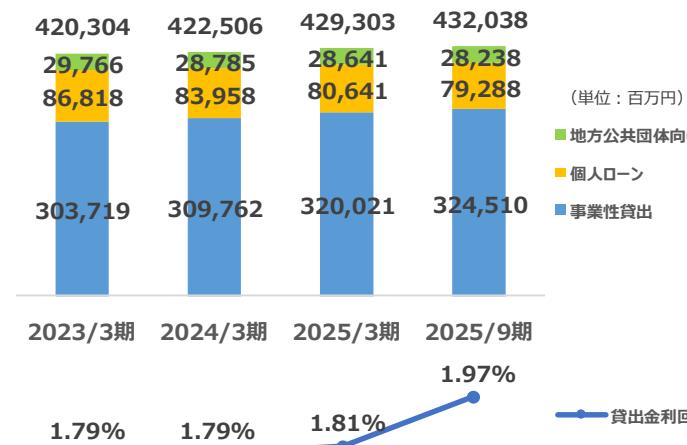
いちばんに、あなたのこど。

4. 貸出金の状況

(単位：百万円)

【貸出金】

	2024年3月末	2025年3月末	2025年9月末	2025年3月末比
貸出金（期末残高）	422,506	429,303	432,038	2,734
事業性貸出	309,762	320,021	324,510	4,489
個人口一 ン	83,958	80,641	79,288	△ 1,352
うち住宅口一 ン	62,970	59,544	58,452	△ 1,091
うちその他口一 ン	20,988	21,096	20,836	△ 260
地方公共団体向 け	28,785	28,641	28,238	△ 402
貸出金（平均残高）	419,616	424,928	429,811	4,883
大分県内向け貸出金（期末残高）	371,465	374,817	374,114	△ 702
大分県内向け貸出金（比率）	87.91	87.30	86.59	△ 0.71



貸出金（期末残高）

事業性貸出の増加額が、個人ローンや地公体向け貸出の減少分をカバーし、前年度末比27億34百万円増加し、4,320億38百万円となりました。

貸出金（平均残高）

法人向け資金需要の増加や、新規取引先の開拓等が寄与したことから、前年度比48億83百万円増加し、4,298億11百万円となりました。

大分県内向け貸出金残高

貸出金の86.59%が県内向けであり、地域に根差した取引基盤が維持されています。

貸出金利回り

前年度比0.16ポイント上昇し、1.97%となりました。

《短期プライムレート引き上げ状況》

- 2024.10.01 +0.15ポイント
- 2025.03.24 +0.25ポイント

いちばんに、あなたのこと。

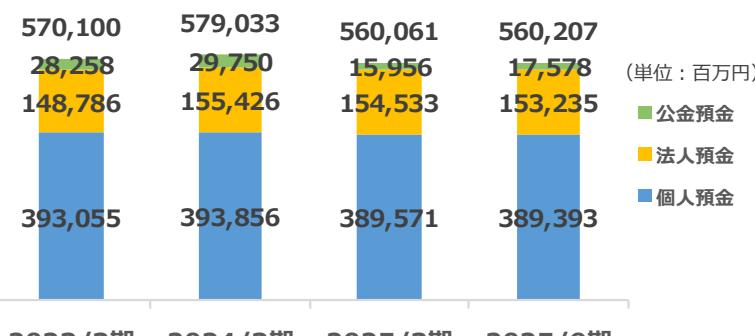
5. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

(単位：百万円)

【預金】

	2024年3月末	2025年3月末	2025年9月末	2025年3月末比
預金（期末残高）	579,033	560,061	560,207	146
個人預金	393,856	389,571	389,393	△ 177
法人預金	155,426	154,533	153,235	△ 1,298
公金預金	29,750	15,956	17,578	1,622
預金（平均残高）	582,356	581,237	562,529	△ 18,708
大分県内預金（期末残高）	559,410	539,587	541,993	2,405
大分県内預金（比率）	96.61	96.34	96.74	0.40

※預金には譲渡性預金を含んでおります。



大分県内のお客さまの預金残高の割合



預金（期末残高）

預金残高は、個人・法人預金は減少しましたが、地公体をはじめとする公金預金の増加により、前年度末比**1億46百万円**増加し、**5,602億7百万円**となりました。

預金（平均残高）

預金（平均残高）は、前年度末に地公体等の公金預金を中心には減少したことにより、前年度比**187億8百万円**減少し、**5,625億29百万円**となりました。

大分県内のお客さまの預金残高

地元のお客さまに支えられ、預金の**96.74%**を県内のお客さまからお預かりしています。これからも地域に寄り添った金融サービスを提供してまいります。

預金等利回り

前年度比**0.12**ポイント上昇し、**0.17%**となりました。

《普通預金の金利引き上げ状況》

- 2024.04.01 変更後 0.02% (変更前 0.001%)
- 2024.09.02 変更後 0.10% (変更前 0.01%)
- 2025.03.24 変更後 0.20% (変更前 0.17%)

いちばんに、あなたのこと。

6. 信用コスト及び不良債権の状況

(単位：百万円)

【信用コスト】

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2024年9月期比
信用コスト (①) + (②)	246	△ 165	390	556
一般貸倒引当金繰入額 (①)	–	–	△ 137	△ 137
不良債権処理額 (②)	246	△ 165	527	693

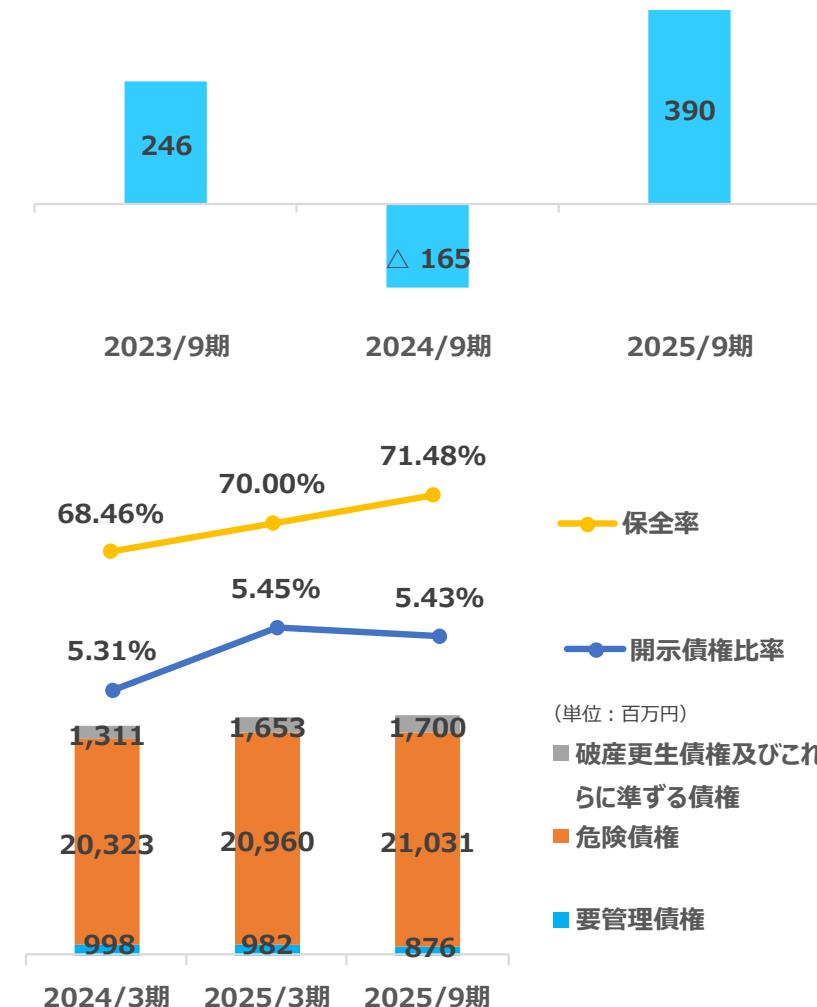
(単位：百万円)

【不良債権の状況】

	2024年3月末	2025年3月末	2025年9月末	2025年3月末比
金融再生法開示債権 (①)	22,633	23,597	23,609	12
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,311	1,653	1,700	46
危険債権	20,323	20,960	21,031	71
要管理債権	998	982	876	△ 105
正常債権	403,593	408,718	410,757	2,039
総与信 (②)	426,227	432,315	434,367	2,051
開示債権比率 (①) ÷ (②)	5.31	5.45	5.43	△ 0.02
保全率	68.46	70.00	71.48	1.48

信用コスト
及び
不良債権の推移

物価高や人員不足などの影響による業績悪化先の増加（87百万円）、引当率上昇や残高増加に伴う増加（142百万円）の一方、再チャレンジ支援や経営改善・事業再生支援へ積極的に取り組んだ結果（325百万円）、信用コストは3億90百万円となり、前年同期を上回る水準となりました。開示債権比率（=不良債権比率）は金融再生法開示債権①が12百万円増加したものの、正常債権の増加などにより総与信が拡大したことから、前年度末比0.02ポイント低下の5.43%となりました。



いちばんに、あなたのこと。

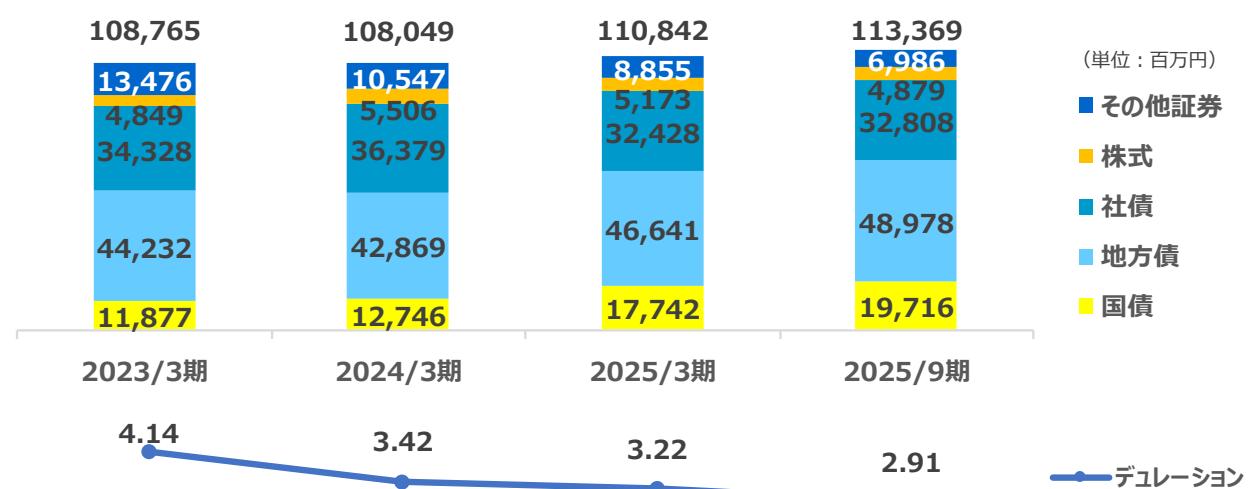
7. 有価証券の状況（評価損益・残高・デュレーション）

（単位：百万円）

【有価証券評価損益】

有価証券	2024年3月末	2025年3月末	2025年9月末	2025年3月末比
国債	443	△ 1,743	△ 1,116	626
地方債	△ 269	△ 735	△ 765	△ 29
社債	△ 440	△ 1,253	△ 1,165	88
株式	△ 291	△ 790	△ 794	△ 4
その他の証券	1,863	1,640	1,912	271
	△ 418	△ 604	△ 303	300

有価証券残高、デュレーション



有価証券評価損益

債券（国債・地方債・社債等）の評価損益は、金利上昇に伴う債券価格の下落等により、27億25百万円の評価損となりました。他方、株式の評損損益は19億12百万円の評価益となりました。

*その結果、有価証券の評価損益全体では、前年度末比6億26百万円改善し、11億16百万円の評価損となりました。

有価証券残高

有価証券残高は、前年度末比25億27百万円増加し、1,133億69百万円となりました。

市場環境の不透明感が増していることを踏まえ、信用リスクを抑制するとともに流動性の向上を図るため、国債、地方債を増加させています。

デュレーション

有価証券のうち債券（国債・地方債・社債等）のデュレーションは、前年度末比0.31年短縮され、2.91年となりました。金利動向を踏まえ、債券のデュレーションを短めにすることで、金利上昇に対するリスクを抑えた健全な運用を行っています。

8. 自己資本比率

(単位：百万円, %)

【自己資本比率】

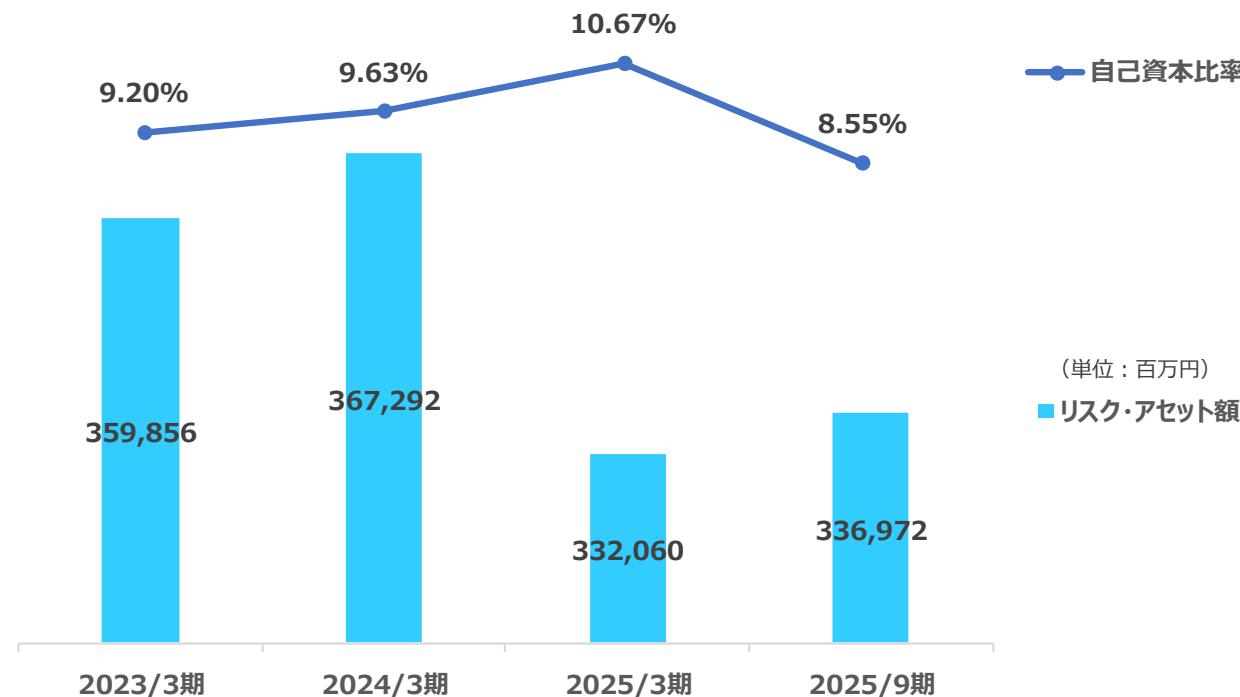
	2024年3月末	2025年3月末	2025年9月末	2025年3月末比
自己資本比率	9.63	10.67	8.55	△ 2.12
自己資本の額	35,382	35,447	28,823	△ 6,623
リスク・アセットの額	367,292	332,060	336,972	4,912

自己資本比率

自己資本比率は、リスクアセットが49億12百万円増加し、自己資本額が66億23百万円減少したことにより、前年度末比2.12ポイント低下し、8.55%となりました。

*自己資本比率低下の主な要因は、公的資金160億円のうち70億円を繰上げ返済したこと（2025.8）や、取引の拡大に伴うリスク・アセットの増加によるものです。

今後も健全な財務基盤の維持と地域経済への貢献を両立してまいります。



いちばんに、あなたのこと。

9. 業績予想

【業績予想】

	2025年9月期 実績	2025年9月期 当初予想(※)	増減
経 常 利 益	639	500	139
当 期 純 利 益	408	390	18
業 務 純 益	858	590	268
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	721	560	161
コア業務純益	863	660	203
信 用 コ ス ト	390	130	260
（一般貸倒引当金繰入額）	△137	△30	△107
（不良債権処理額）	527	160	367

(単位：百万円)

(単位：百万円)

2026年3月期 予想	2025年3月期 実績	増減
1,150	1,344	△194
660	1,037	△377
1,370	1,984	△614
1,280	1,692	△412
1,480	1,802	△322
290	371	△81
△90	△292	202
380	663	△283

(注) 業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(※) 2025年9月期当初予想は、2025年5月14日公表分に基づく。

【業績の推移】



業績予想

2026年3月期第2四半期累計期間の業績は、信用コストが想定を上回ったものの、株式等売却益の計上及び営業経費の減少等により、経常利益及び中間純利益が当初予想を上回る水準で推移しました。

2025年5月14日に公表いたしました**2026年3月期通期の業績予想に変更はありません。**

今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに発表いたします。

いちばんに、あなたのこと。

10. 経常収益と経常利益、中間純利益の推移

(単位:百万円)

【推移表】

	経常収益			経常利益			中間純利益		
		前年同期比			前年同期比			前年同期比	
2025年9月期	5,792	359	増収	639	△ 365	減益	408	△ 480	減益
2024年9月期	5,433	46	増収	1,004	537	増益	888	567	増益
2023年9月期	5,387	596	増収	467	△ 63	減益	321	△ 153	減益
2022年9月期	4,791	△ 439	減収	530	△ 490	減益	474	△ 406	減益
2021年9月期	5,230	340	増収	1,020	147	増益	880	15	増益
2020年9月期	4,890	△ 175	減収	873	79	増益	865	138	増益
2019年9月期	5,065	△ 182	減収	794	△ 266	減益	727	△ 276	減益
2018年9月期	5,247	154	増収	1,060	295	増益	1,003	517	増益
2017年9月期	5,093	△ 39	減収	765	575	増益	486	342	増益

経常収益と経常利益、中間純利益の推移

2025年9月期は、増収減益の決算でした。

・増収減益は2期ぶり（減益は経常利益ベース及び中間純利益ベース）。

・経常収益の増収は3期連続。経常利益の減益は2期ぶり。中間純利益の減益は2期ぶり。

いちばんに、あなたのこと。

11. 経営強化計画の達成状況

2025年9月期 経営強化計画	2025年9月期 実績	経営強化計画比	達成状況
--------------------	----------------	---------	------

1. 経営の改善の目標

- コア業務純益の改善額（収益を示す指標）

(単位：百万円)

コア業務純益 ①	747	863	+116
----------	-----	-----	------

※ コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

達成見込み

- 業務粗利益経費率の改善額（業務の効率を示す指標）

(単位：百万円, %)

経費（機械化関連費用を除く）	2,800	2,742	△ 57
業務粗利益	4,226	4,131	△ 94
業務粗利益経費率 ②	66.25	66.38	+0.13

※ 業務粗利益経費率 = (経費 - 機械化関連費用) ÷ 業務粗利益

※ 機械化関連費用は、事務機器等の機械賃借料、機械保守費、減価償却費等を計上しております。

2. 中小規模の事業者に対する信用供与の円滑化

- 中小規模事業者等向け信用供与の残高・比率（業務の効率を示す指標）

(単位：億円, %)

中小規模事業者等向け貸出残高 ③	3,100	3,113	+13
総資産残高	5,993	5,942	△ 51
総資産に対する比率 ④	51.72	52.40	+0.68

※ 総資産に対する比率 = 中小規模事業者等向け貸出残高 ÷ 総資産残高

達成状況

経営強化計画の達成状況

1. 経営の改善の目標は2項目のうち、1項目達成見込みです。

①コア業務純益は達成の見込み

②業務粗利益経費率は未達成の見込み

未達成見込み

2. 中小規模の事業者に対する信用供与の円滑化

- 中小規模事業者等向け信用供与の残高・比率（業務の効率を示す指標）

(単位：億円, %)

達成見込み

達成見込み

- 経営改善支援先数の取引先企業総数に占める割合

(単位：先数, %)

経営改善支援等取組先数	378	463	+85
取引先企業総数	5,618	5,595	△ 23
比率 ⑤	6.72	8.27	+1.55

※ 比率 = 経営改善支援先数 ÷ 取引先企業総数

達成見込み

いちばんに、あなたのこと。